

Nordic Market Biweekly Report

情報提供資料

北欧市場ニュース～北欧投資の魅力と最新情報を隔週でお届けします

2016年4月6日

★為替・金利の動向

対円レート推移

(2016年3月18日～2016年4月1日) ※単位は円

| | 3月18日 | 3月25日 | 4月1日 | 期間中騰落率 |
|-------------|--------|--------|--------|--------|
| ノルウェー・クローネ | 13.36 | 13.33 | 13.58 | 1.6% |
| スウェーデン・クローナ | 13.59 | 13.63 | 13.83 | 1.8% |
| デンマーク・クローネ | 16.88 | 16.96 | 17.16 | 1.7% |
| ユーロ(フィンランド) | 125.78 | 126.42 | 127.87 | 1.7% |

※為替は三菱東京UFJ銀行発表の日本時間午前10時仲値を参照

期間中(2016年3月18日～2016年4月1日)、北欧4カ国の通貨は対円で上昇しました。

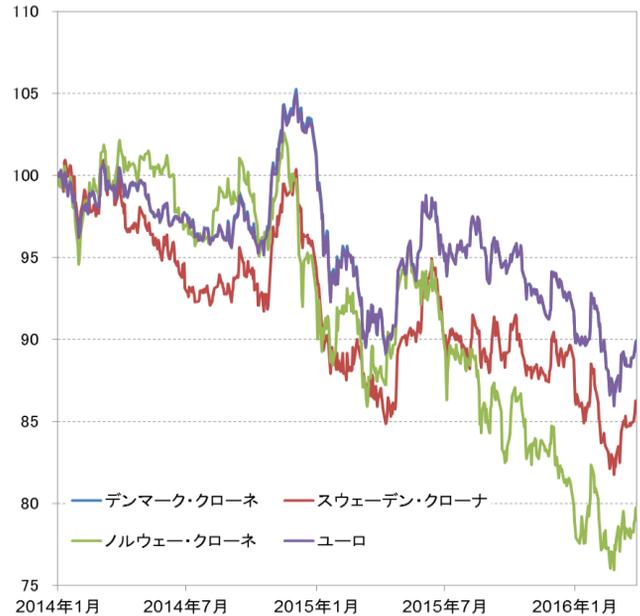
FRB(米連邦準備制度理事会)の早期利上げ観測の後退や日本政府の経済対策に対する期待感を背景に円売りが優勢となったことなどから、北欧通貨は日本円に対して上昇しました。

※デンマーク・クローネは、ユーロにペッグされているため、ユーロとほぼ同様の動きとなっています。

対円レート推移

(2014年1月6日～2016年4月1日)

※2014年1月6日を100として指数化



出所)ブルームバーグデータをもとにBNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社作成

銀行間取引金利3カ月物推移

(2016年3月18日～2016年4月1日) ※単位は%

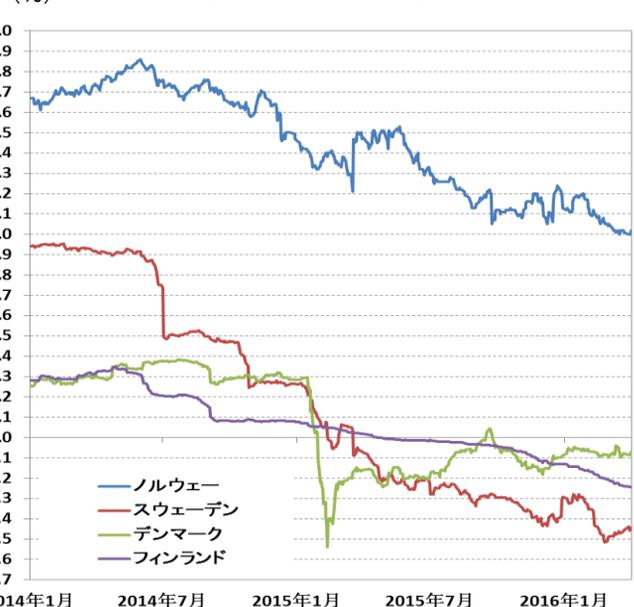
| | 3月18日 | 3月23日 | 4月1日 | 期間中変動幅 |
|--------------|--------|--------|--------|--------|
| ノルウェー | 1.020 | 1.010 | 1.020 | 0.000 |
| スウェーデン | -0.469 | -0.456 | -0.445 | 0.024 |
| デンマーク | -0.098 | -0.080 | -0.073 | 0.025 |
| ユーロ圏(フィンランド) | -0.235 | -0.241 | -0.245 | -0.010 |

期間中(2016年3月18日～2016年4月1日)、北欧4カ国の銀行間取引金利はまちまちな展開でした。

スウェーデン銀行間取引金利は、同国の労使交渉で賃上げが同意に至ったことから、同国のインフレ率の上昇に貢献するとの期待を背景に上昇しました。デンマークの銀行間取引金利は、同国の2015年10-12月期GDP(国内総生産)が前四半期の前期比0.6%減から前期比0.1%増に転じたことが好感され上昇しました。

銀行間取引金利3カ月物推移

(2014年1月2日～2016年4月1日)



出所)ブルームバーグデータをもとにBNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社作成

【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、2016年4月に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

☆北欧ニュース

<ノルウェー：失業率が上昇傾向>

3月30日にノルウェー統計局(SSB)は、ノルウェーの失業率は1月に4.8%まで上昇したと発表しました。2014年5月から1.6%、失業者数にして、約47,000人増加したことになります。2015年10月以降も、約5,000人増加しています。ノルウェー労働福祉庁(NAS)も独自の雇用統計を調査していますが、SSB同様、失業率は増加傾向を続けています。これまで比較的低下水準にあったノルウェーの失業率も、ドイツの4.3%、米国の4.9%、スウェーデンの7.0%、欧州全体の8.9%など他の先進国地域の流れに沿って上昇し始めています。Nordea Markets社のチーフアナリストは「SSBの調査結果は必ずしも常に正確であるわけではないが、確実に失業率は増加しており、雇用は停滞している。」と言及するとともに、「ノルウェー中央銀行の2016年の予想失業率4.6%は楽観的である」と警告しました。今後、雇用市場の悪化を示すさらなる指標等が確認されれば、ノルウェー中央銀行による追加利下げの可能性が高まるとの見方が高まっています。

<スウェーデン：スウェーデン国立銀行が「現金取扱の義務化」を要請>

1661年に欧州で初めて紙幣を導入したスウェーデンですが、近年は世界有数のキャッシュレス先進国へと進化しています。スウェーデンはマイナンバー先進国としても知られており、1947年に本格的な国民共通番号制度が導入されました。国内銀行は、電子証明書、氏名や個人識別番号が格納された銀行証明書を発行しており、一般行政サービスや民間サービスで幅広く活用されています。また、1776年に個人情報保護法が設定され、マイナンバー制度、金融IT化政策、プライバシー政策などとの連携がスウェーデンのキャッシュレス社会を拡大してきました。しかし、スウェーデン国立銀行は、国内におけるキャッシュレス化の急速な拡大が、需要と供給のバランスを著しく崩している点を指摘し、「キャッシュ・サービスの提供を銀行に義務付ける」法的必要条件を財務省に要請しました。近年スウェーデンでは通貨流通量が激減しており、現在の現金取引は国内全体の2%程度とされています。スウェーデン国立銀行は、スウェーデンの銀行の現金取扱サービスの急速な縮小により、地方でキャッシュ・サービスが行き届かなくなってきたり、十分なキャッシュが提供されていないという問題が出始めており、こうした需給のギャップが広がることを懸念しています。

<デンマーク：2015年のデンマーク・クローネにおける利益>

デンマーク国立銀行は、2015年の自国通貨デンマーク・クローネ上昇による利益の多くは、投機家による、デンマーク・クローネがユーロへの連動を断念するとの思惑が生んだものだと説明しました。2015年にデンマーク国立銀行は、約36億クローネの利益を獲得しましたが、内約22億クローネは2015年初めのデンマーク・クローネへの買い圧力によるものでした。2015年1月15日にスイス中央銀行がスイス・フランのユーロ連動を廃止したことを背景に、スイス・フランが急騰しましたが、その際、ごく一部の投資家が大幅な利益を得る一方で、多くの外為取引業者や銀行などは大きな損失を被りました。一部のヘッジファンドなどが次にユーロや米ドルとの連動が廃止されると予想し、投機を仕掛けたのがデンマーク・クローネでした。しかし、デンマーク国立銀行は自国通貨のユーロへの連動を維持し続け、投機家の関心が後退したところで、デンマーク・クローネを売却した価格より若干安値で買い戻したことで、利益を享受することになりました。

出所：各種資料をもとにBNPパリバインベストメント・パートナーズ株式会社作成

※ 文中に登場する企業名等は情報提供のためのものであり、当社が特定の有価証券等の取得勧誘を行うものではありません。



BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第378号

加入協会 一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、2016年4月に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。